

商品番号

VM63-S

「猫の糖尿病」の概要と治療の実際

～各種インスリン製剤の特徴と臨床症例～

巻数・価格 全3巻(分売不可) セット価格25,000円+税(送料別)

監修・解説 竹内 和義 (さがみ中央動物医療センター 院長)



犬と猫では糖尿病の治療方法が異なる！

糖尿病は、膵臓から分泌されるインスリンの完全または不完全な不足、または体のインスリンに対する感受性(効果や作用)の低下が原因で、血液中の糖分が過剰に上昇して尿に糖が排泄される病気です。人の糖尿病(Ⅱ型)は、肥満や飲酒などの生活習慣病が代表になっていますが、実は猫の糖尿病も人の糖尿病と非常に類似し、多くの場合「肥満」が原因のⅡ型糖尿病です。**猫の糖尿病は、適切な初期治療(インスリン療法と高蛋白食の併用)によって、治癒する可能性もあります。今回は、猫を対象として糖尿病の概要・治療に**

用いられるインスリン製剤の種類とその作用、そして特徴的な「猫の糖尿病」の臨床症例を紹介しています。ここではインスリン製剤としてProZinc(プロジンク)を主に使用していますが、どのインスリンがベストということではなく、症例によって合うインスリン、合わないインスリンがあるのです。また、インスリンの療法を開始して最初の3ヶ月間は定期的なモニタリングをして寛解の傾向があるかを確認することがとても重要です。是非、ここで紹介する病態治療概念をしっかりと勉強して、日々の臨床にお役立てください。

VM63-1

「猫の糖尿病」概要 (66分)

基本的な糖尿病のメカニズムと猫の糖尿病の特徴を学び、その診断基準と治療の目標、そして、治療に用いる猫専用のインスリンの安全性と効果について紹介している。

- はじめに
- 猫の糖尿病とは?
- 猫専用インスリンの効果



VM63-2

インスリン製剤の種類とその作用 (89分)

猫の糖尿病に使用するインスリン製剤について、その歴史から現在日本で使用されているインスリン製剤の種類や特徴、使用の仕方、各種インスリン投与後の作用などについて紹介している。

- インスリン製剤の歴史と種類
- 各種インスリン製剤の特性
- 各種インスリンの作用
- 血糖値の検査と血糖コントロール

VM63-3

「猫の糖尿病」臨床症例 (52分)

特徴的な「猫の糖尿病」の5症例を取り上げ、それぞれのプロフィールから検査、診断、および治療内容を血糖曲線やフルクトサミン値の推移を示しながら紹介している。

- 症例1: 糖尿病猫におけるProZinc使用症
- 症例2: NPHインスリンからProZincに変更して良好な経過を示した猫の糖尿病の一例
- 症例3: ランタスからプロジンクに変更することで血糖コントロールが安定した猫の一例
- 症例4: グラルギンで糖尿病から寛解しその後低血糖傾向を示した症例
- 症例5: 糖尿病ケトアシドーシスと膵炎、肝リビドーシスを併発した猫の一例
- おわりに

実際の臨床で使える糖尿病の治療法！



商品詳細・ご注文は通販サイトから… www.japanlaim.co.jp/ サンプルムービー配信中

JLC ジャパンライム株式会社 TEL.03(5840)9980 FAX.03(3818)6656

〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14

ジャパンライム VM63-S 検索

【お申込み・お支払い方法】◎ご希望の商品番号を指定し、電話かFAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3~6営業日後でお届けします。
◎送料は1回につき741円+税。 ◎到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。 ◎カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割も可)。

VM63-S
2019.6